

令和4年度 第2回 防府市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

■開催日時・場所

令和4年12月20日（火）午後2時から午後3時30分まで
防府市役所 議会棟3階 全員協議会室

■次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - ・協議事項
 - （1）防府市の概況及び公共交通の状況について
 - （2）デマンドタクシーの運行について
 - ・報告事項
 - （1）タクシー事業者への交通系ICカード決済端末の導入支援について
 - ・その他
4. 閉会

■配付資料

	資料名
1	令和4年度第2回防府市地域公共交通活性化協議会 次第
2	防府市地域公共交通活性化協議会 委員名簿
3	資料1 防府市の概況及び公共交通の状況について
4	資料2 デマンドタクシーの運行について
5	資料3 タクシー事業者への交通系ICカード決済端末の導入支援について

■出席者名簿 敬称略・順不同

	区分	所属団体・役職	名前	出欠
委員	学識経験者	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科准教授	目山 直樹	出席
	地域公共交通 の利用者等	防府市自治会連合会 佐波地域自治会連合会長	山田 拓男	欠席
		防府市老人クラブ連合会 理事	湯原 温茂	出席
		防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
		市民代表	権代 祥一	出席
	公共交通 事業者等	防長交通(株) 営業部長	河合 貴志	出席
		中国ジェイアールバス(株) 運輸部生活交通活性化推進室長	河内 政好	出席
		西日本旅客鉄道(株)山口支社 防府駅長	金田 善次	出席
		(有)野島海運 取締役	阿部 幸典	欠席
		(一社)山口県タクシー協会 理事	大隅 洋三	欠席
		山口県交通運輸産業労働組合協議会 (私鉄中国地方労働組合防長交通支部防府分会 分会 長)	山下 一也	出席
	道路管理者 港湾管理者	中国地方整備局山口河川国道事務所 交通対策課長	三浦 道人	欠席
		山口県防府土木建築事務所 維持管理第一課長	牧 浩一郎	出席
		山口県防府港務所 主査	藤井 健二	出席
	警察	防府警察署 交通課長	藤村 俊之	出席
	関係機関	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	山田 敏行	出席
		山口県観光スポーツ文化部 交通政策課長	渡邊 昭博	欠席
計画作成市	防府市 地域交流部長	杉江 純一	出席	
事務局		地域交流部次長	池田 晋	
		地域交流部 参与	熊野 博之	
		地域交流部地域振興課 課長	岡田 由紀江	
		地域交流部地域振興課 課長補佐	重田 英之	
		地域交流部地域振興課交通政策係 係長	國貞 裕司	
		総合政策部政策推進課交通政策係 主任	坂井 貴	
		地域交流部地域振興課交通政策係 主任	江山 雄一郎	

※傍聴：村木正弘議員、清水力志議員、河村孝議員、森重豊議員、内田元夫

報道：防府日報

■議事録

1. 開 会

2. 挨拶

会長あいさつ

3. 議 事

会長から会議の公開について確認後、議事を進行。

協議事項（1） 防府市の概況及び公共交通の状況について

事務局から資料1を説明。

目山会長 これは、5年度に策定する計画であるが、4年度のデータについては策定段階で補足し最終的にまとめる、と考えて良いのか。

事務局 おっしゃる通り。令和4年度のデータを更新し、令和5年7月の協議会で計画の素案を示す予定。

目山会長 最新のコロナ禍の影響の推移を把握し、計画に反映させると良い。
もう一点お尋ねするが、前の地域公共交通網形成計画の中で現況に挙げていた問題から、コロナ禍による公共交通利用の減少以外に、特別に変わったところはあるのか。

事務局 特別に変わったところはない。

目山会長 委員の方には、データの積み上げというところを確認していただきたい。本件については、事務局は最新の状況を追加修正しながら、引き続き計画の策定作業を進めてください。

◎協議結果

事務局は最新の情報を更新しながら、引き続き、地域公共交通計画の策定作業を進める。

協議事項（2） デマンドタクシーの運行について

事務局から資料2を説明。

目山会長 要望の中で、切畑と玉祖の両方に『将来乗るかもしれないから、残しておいてほしい』という意見があるが、税金を投入する施策において、今乗っていない人のそういった意見については、本来、資料として抜粋する必要はないのではないかと思う。

将来乗るかもしれない人をどう今乗る人にするのか、また、今は移動手段があるが、将来移動手段がなくなるという問題は、福祉の様相がかなり強い。福祉的な視点で言うと、将来、移動手段がなくなる人に対してどこまで斟酌していくのかということが、地域公共交通計画にも係る課題の一つだと言える。

また、大口利用者がお亡くなりになったから、デマンドタクシーの利用が減少した、というところがこの問題の本質を突いており、利用者あつてのサービスということを感じた。

A 委員 8 ページの登録状況について、2 - 3 の登録者数の箇所が計 90 人になっているが、90 人の中でどれぐらいの方が使われているのかというの、この下の 2 - 4 の方の人数になるということなのか。例えば、令和 4 年度は 90 人が登録して、実際に利用されているのが 10 人となるのか。

事務局 おっしゃる通り。90 人中の実利用者は、令和 4 年度では 10 人おり、利用された累積が、延べ利用者数で 277 人となっている。

B 委員 玉祖デマンドタクシーのインタビューに『防府駅まで延長』という声があるが、この実現化については、既定路線があるから難しいのか。

事務局 デマンドタクシー自体が、路線バスの代替となっており、乗り継いで防府駅まで、という想定なので、拡大は難しい。

目山会長 ルール上、乗り継いで利用していただくデマンド交通である。防府駅行直通にする可能性があるのかをはっきりさせた方が良い。

事務局 法律上、バス事業との兼ね合いもあり、難しい。

目山会長 そういうことであれば、乗り継ぎ拠点があつて、そこを經由して防府駅まで行ってください、ということになる。

B 委員 切畑デマンドタクシーの方は、あかり園までのバス路線と重複しているのではないのか。

事務局 切畑デマンドタクシーの運行経路とバス路線の運行経路については、確かに一部重複している。ただ時間帯で重複しないよう、配慮して時間の設定をしている。

C 委員 玉祖デマンドタクシーについては、これまでに話を聞いているが、法律上乗合タクシーを導入するためには、路線バスとの棲み分けをする必要がある。防府市では、路線バスがあるので、乗り継いで防府駅まで行っていただきたい、という判断だと思っている。路線バスにどの程度の影響があるか等を考慮し、路線バスとの棲み分けが出来、法定協議会の場で協議が整うのであれば、防府駅まで行くことは可能である。

一つ確認であるが、路線バスのダイヤとデマンドタクシーのダイヤは、ある程度乗り継ぎを考えた運行時間になっているのか。

事務局 次のダイヤを考慮した運行内容としている。

C 委員 何分以内に乗り継げたら便利か、というのは年齢や体の具合等によっても異な

ってくるが、10分程度が望ましい。乗り継ぎ時間はどのくらいか。

事務局 運行当初から、乗り継ぎ時間について考慮し、10分程度で設定している。

C委員 デマンドタクシーを地域の方に周知するにあたり、『乗り継いで、防府駅も行けます』等の案内をしていけば良いと思う。

B委員 障害のある者の立場からすると、乗り換えの負担を考慮すると、結局最初からタクシーを使うことになる。デマンドタクシーの利用についての限界を感じてしまう。年をとれば、1人で外出する割合も減ってくると思うが、どうお考えか。

事務局 障害のある方については、乗り継ぎは負担であると認識している。全体としては、障害のある方を対象として、心身障害者福祉タクシー助成事業を行い、配慮をしている。

目山会長 初めにこの当初計画を立てたときのデマンドタクシーには、実態のデータがなかった。数年運行してきて、利用者や乗り継ぎ方法のデータが揃うと、乗り継ぎ実態を把握し、バス会社に対してどういった支援をしながら、棲み分けをしていくかの検討が出来る。

ただ、今回の協議で議論できるほど単純ではない。その点についての検討を、令和5年度でまとめる資料の中には、反映できるようにデータを整理しておき、可能であれば、令和6年度に反映が出来るかどうか検討する、という流れが良いと思う。検討は可能か。

事務局 防府駅までデマンドタクシーの運行をとというのはやはりバス路線との競合という観点で難しい、と考えている。

ただ、これから計画の策定に向けて協議会を開催していく中で、色々な御意見を伺いながら計画を作成していきたい。

切畑デマンドタクシーは、大道駅から電車を利用し、防府駅まで乗り継ぐことができるので、地区で完結が可能である。ただ玉祖デマンドタクシーは、そういった利用が難しい。

目山会長 実際のところ、デマンドタクシーはエリアで完結して公共交通の拠点に連れて行くというのが目的であり、切畑と玉祖では性格が異なる。切畑に関して言えば、路線バスと競合する路線にあるように見えるが、時間帯のサービスを変えている。ところが玉祖では問題がある。例えば防府駅に連れて行こうとしたら、バス路線の時間帯に重ならないということは、あり得ないのでどうしていくのか。更に進んで考えると、乗り継ぎを可能にするように、乗り継ぎ拠点で空間を整備するという話になると、もっとお金もかかるし、サービスの仕組みというのに関わってくるので、単純にバス事業だけではやっていけないところがある。

ただ、運行内容についての御要望や意見をいただくことは非常に重要である。

これまでの歴史があり、その中でもいろいろと検討してきた中でここまで進んできているので、出来ること出来ないことがあり、進化させるっていうのが難し

いが、ご理解いただけたらと思う。

◎協議結果

来年度の切畑デマンドタクシー及び玉祖デマンドタクシーの運行については、今年度と同様に実施することとする。

報告事項（１） タクシー事業者への交通系ＩＣカード決済端末の導入支援について
事務局から資料３を説明。

◎協議結果

特に意見なし。

その他

特になし。

４．閉 会
